

常照

第812号

仏心とは大慈悲これなり

昨年来のコロナ禍がなかなか終息しません、ようやく北海道でもワクチンの接種がはじまり、少し安堵するようないであります。ワクチン予約の申し込みをするのに、電話がなかなか通じないと嘆いている方もおられるようです。

しかし聞くところによると、ワクチン接種を待ちわびる人々の心に付け込んだ詐欺事件がしばしば

起きています。

自治体や保険所の職員を偽装し、電話や直接お宅へ訪問するなどして、「接種には予約金が必要」とか「お金を払えば他の人より早く接種できる」と持ちかけるのが手口だそうです。

ワクチン接種は完全無料であり、予約金が必要であるとか内密に早く予約ができるとか、関係職員が直接伺うというのはいえなないことで、もしそういうことがあれば絶対詐欺なので気をつけるようにと関係機関はメディアを通して注意を促しています。

そういえば少し昔のことですが、あるご門徒が「オレオレ詐欺」に遭いそうになったことをお話しし

てくれました。

ある日、電話が鳴りご門徒のご婦人がでると、受話器の向こうで「かあさん？」と弱々しい声で言うので、思わず「〇〇（息子さんの名前）かい？」と問いかけると「うん」と答えたそうです。それから会社のお金を相当額使い込んで、それが露見し近日中に返済を迫られていること。親にだけは知られたくないと思い八方手を尽くしたがどうにもならず、何とかして欲しいと実家に泣きついてきたということででした。

ご婦人はすっかり気が動転してしまい「何とかするから待ってなさい」と言って電話を切り、旦那さんに相談しました。すると旦那

さんは冷静に、あの子がそんなことをするはずがない。何かの間違いだと思うから、息子のケータイに電話して確かめようということになったそうです。

旦那さんが息子さんに直接連絡を取ったところ、そんな電話はしていない、それはきつと詐欺だと判断し、なんとか被害を免れたということでした。

騙されなくてよかったと言っておられました。が、続けてご婦人が「お寺さん、後になって考えてみたら最初から最後まで息子に話しかけていたのは、全部私からだった。「かあさん？」って寂しそうな声で言うから、てつきり息子だと思つて、あっちが名乗る前に〇〇かい？

と声をかけたら、うん俺だって言つて。なんだか困ったような声だったから、どうしたの、なんかあったのかい？って。向こうは、私に合わせて答えただけだったんだわ。ホント、親ってバカみたいだね」とお話してくれました。

詐欺の被害に遭わなくてよかったなあ、と安心しつつ同時に、親が子を思う気持ちに何となく感動していました。

子どもが困ってはいないか、悩んだり悲しいことがあったりしていないか。どうか元気に、幸せに暮らしてほしい。お金で解決できるなら何とかしてやりたい。たとえ詐欺でも我が子に騙されるなら仕方がない、というほどの思いで

いるのでしよう。

観無量寿経に聞く

「仏心とは大慈悲これなり」とは『仏説観無量寿経』のお言葉であります。慈悲とは、他者の悲しみ・痛みを我が苦しみ・痛みと感じ取り、それを取り除きたいとはたらく心であります。

また、他者の喜びを我が喜びと感じ取り共に喜び合う心であります。それはまるで我が子を気づかい願う、親のような思いなのでしよう。子が頼みもしないのに苦しみ悩みを取り除き、喜び多かれと願う。

その心が時間や空間、対象に限定されることなく、いつでも・どこ

でも・だれにでも届けられているので「大慈悲」と申しあげるのがあります。

阿弥陀如来は私たち一人ひとりを我が子よ、と呼びかけ、苦しみ・痛み・寄り添い、共に喜び合ってくださる。迷いを迷いとも思わず、罪を罪とも思わない私に、迷いを知らせ罪を気付かせて、その私に「南無阿弥陀仏、大丈夫だよ」と呼びかけてくださる。

ご門徒のご婦人の親心から、阿弥陀さまの大きなお慈悲の心を教えていただいたご縁でありました。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

合掌

九月の常例布教(ご法話)のご案内

○前期 九月七日(火)～十一日(土)

大阪教区 島中西組 専稱寺

講師 野田 茜 師

○後期 九月十三日(月)～十六日(木)

安芸教区 豊田東組 西念寺

講師 深水 謙 昭 師

○秋季彼岸会布教

九月二十一日(火)～二十三日(木)

北海道教区 胆振組 皇恩寺

講師 増山 顕 佑 師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時(法要終了後)～午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使のご法話を頂きます。どうぞお誘い合わせ頂き、ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気実施の上、お待ちしております。

九月二十三日(木)は秋季彼岸会に御中日にあたりますので月忌参詣はお休みさせて頂きます。どうぞお寺にお参りください。

発行所

☎047-0017

小樽市若松二丁目四番十七号
本願寺小樽別院

電話 二二一〇七四四番
FAX 二二九一四〇八〇番
テレホン法話 二二七一六六六番